

箕作麟祥 あしやう 法學者、法學博士。弘化二年七月、二十九日江戸生れ、

明治二十年十一月、二十九日歿（六十一歳）。通稱碩太郎、貞一郎、貞

一。箕作者奇の長男。祖父箕作延用（蘭學）學ぶ。蕃書調所出役等を

經て慶應二年徳川昭武に隨行してフランス入公赴く。維新後新政府に出

仕、果進して大政官大書記。東京學士院會員、元老院議員、司法次官、

貴族院議員、行政裁判所長官、和佛法律學校校長等歴任。フランス入法

の紹介・移入、また明治民法・商法編纂に貢献。男爵。

譯著書『萬國新史・上篇』（纂輯、明治四年十一月玉山堂）、（泰西勸

善訓家）全二冊（譯、明治六年名古屋學校藏版、愛知・菱屋平兵衛發

兌）、ゼームス、スウキンホー著『北支那戰爭記』（内題一千八百

支那戰爭記）明治七年十一月附言、無刊記）、カスパル、ホプキンズ

著『萬國政體論』全二冊（譯、明治八年十月刊、十一月十二日版權免

許、中外堂）、タイエー、クルラー合纂『佛蘭西法律書・上卷』（憲

法）（口譯、辻十重筆受、明治八年十一月二十七日文部省。續刻一全

二冊、上卷・十一月二年二月五日、下卷・四月十八日報告社）、（白科全

教學必要・卷之貳（北歐鬼神誌（北歐鬼神誌）（自然神教及道徳學）（蘭鑑合評訳・久保吉人校・

水溪智應編、明治十八年五月無外書房）、（雄辯 實地演説筆記（合

著・内山龜太郎編、明治二十一年一月京都・改進黨書店）等。